

CRC



COLLAGEN RESEARCH CENTER

1-10-1 Kamikiyoto, Kiyose, Tokyo 204-0013, Japan
Tel+81-424-95-1995 Fax+81-424-95-1990

「K 2 1 蛍光標識 (F I T C) タイプ I コラーゲン液」 コラーゲン技術研修会

本品は、世界で最初に製品化された (1981年、医科歯科大学永井教室ご指導) コラゲナーゼ活性測定試薬「K 1 1 コラゲノキット CLN100」の基質液を補充用として製品化したものです。「K 2 1 MATU 蛍光標識コラーゲン末」と共に培養実験にも用いられ、培養状態の視覚化や培養上清へ表出した蛍光標識コラーゲンの分解物測定による酵素活性検出などが行われています。

又、最近の主な利用方法は、「高感度ザイモグラフィー」での基質です。従来の「ザイモグラフィー」に比べ、感度が5-10倍に向上、染色廃液の処理が不要、酵素活性を継続して視認できるなどの利点があります。なお、「高感度ザイモグラフィー」での基質として用いる時は、研究の為であっても他社後発品を用いる事は知的財産権侵害の恐れがありますので、ご留意が必要です。

容量 10mg / 10ml 褐色瓶

本質 蛍光標識 (F I T C) タイプ I コラーゲン

外観 液 (凍結状態)

用途 MMPs (コラゲナーゼ、ゼラチナーゼ他) 及び TIMP の活性測定等
培養法に (プレートへの塗布、二次元・三次元培養用ゲルへの添加)
体内移行の研究、高感度ザイモグラフィー

由来 ウシ胎児真皮由来

抽出 酸・ペプシン抽出・DEAE処理

特性 変性温度及び SDS-PAGE でタイプ I コラーゲンの特性を示す

保存 遮光下、-20℃で1年。長期には-70℃

文献 ; 高感度ザイモグラフィーに関する

1)細胞 34, 141-143. 2002.

2)Analytical Biochemistry 301, 27-34, 2002.

参考製品

- ・ K 1 1 コラゲノキット CLN100
- ・ K 1 2 コラゲノキット type II
- ・ K 2 2 蛍光標識タイプ II コラーゲン



コスモ・バイオ株式会社
COSMO BIO CO., LTD.